

## 令和7年度 キャリア教育指導者養成研修(第2回) 日程表 【リアルタイム・オンライン】

## 【キャリア教育指導者養成研修 目的】

児童生徒が学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくため、各教科・科目等の特質に応じたキャリア教育を充実させることが求められている。本研修では、学校や地域において、1) キャリア教育に関する諸課題の改善に専門的知見を活用し組織的な取組を推進する力、2) 教職員の専門性向上を推進する力、を習得した指導者の養成を図る。

## 【第2回 目標】

キャリア教育を実践することで、学校生活と社会生活や職業生活を結び、関連付け、将来の夢と学業を結びつけることにより、生徒・学生等の学習意欲を喚起することの大切さが確認できる。同様に教職員においても、これまで行ってきた自身の実践と国や地方が示す理想の姿を結び、関連付けることにより、教職員のキャリア教育に対する意欲が喚起されていくことが必要とされる。本研修の第2回では、キャリア教育の在り方や指導者としての関わり方について、これまでの自身の実践と向き合い、今後の実践を試行錯誤しながら展開する力の涵養を目標とする。

## 〈第2回 対象者〉

・教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事等 ・校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭及び教諭等 (※キャリア教育の推進に2年以上携わる者を推奨)

8:45	9:15	9:45	10:45	10:55	12:10	13:10	14:40	14:50	16:20	16:25	16:45
10月29日（水）	受付	イントロダクション	対話（60）	休憩	個人探究・協議（75）	昼休憩	講義・協議（90）	休憩	講義・協議（90）	休憩	リフレクション
			実践の捉え直し		「キャリア」や「キャリア教育」の捉え直し		キャリア教育の背景とその役割		PDCAサイクルを踏まえた指導計画等の評価・改善手法		
			事前に作成したキャリア教育実施状況を持ち寄り、自身の実践を基にグループで対話する。		「キャリア教育の手引き」や「平成23年キャリア答申」等の資料読解を通じて、「キャリア」や「キャリア教育」そのものを捉え直し、対話により考えを深める。		文部科学省初等中等教育局児童生徒課 講師：生徒指導調査官 佐藤 学		筑波大学 図書館情報メディア系 講師：助教 立石 慎治		
					キャリア教育の背景や必要性について、最新情報に触れながら理解を深める。		PDCAサイクルを踏まえた評価・改善手法について具体例を通して学び、カリマネの視点でキャリア教育を進める意義を理解する。				

8:45	9:00	9:30	10:30	10:40	11:20	11:40	13:25	14:30	14:40	16:10	16:15	16:30			
10月30日(木)	受付	イントロダクション	実践発表・個人探究・協議(300)※休憩を含む						休憩	講義・協議(90)		休憩	リフレクション		
			縦の連携を意識したキャリア教育							縦と横の連携を意識したキャリア教育					
			実践発表 (20×3)	休憩	同校種対話 (40)	話題提供	個人探究 (45・昼休憩60)			異校種対話 (30)	移動			同校種対話 (30)	筑波大学 人間系 講師：教授 藤田 晃之
							小学校、中学校、高等学校からの実践発表をきき、縦の連携について考える。								
				校種別のグループで対話し、その後質疑応答を行う。											

8:45		9:00		9:20		12:00		13:00		13:30		14:00		14:10		15:40		16:10		16:30	
10月31日(金)	受付	グループ演習(300)※休憩を含む										休憩	個人探究・対話(120)※休憩を含む						実践に向けて リフレクション		
		教育活動全体を通したキャリア教育											研修成果の活用								
		活動説明	キャリア教育年間指導計画について (160)※休憩を含む					昼 休 憩	発表 (30)		講 評		個人探究 (90)※休憩を含む				交 流				
			いくつかの年間指導計画を見比べ、指導のポイントや伴走の在り方を検討する。						代表グループ による発表を 行う。				各自治体等で実際に行う研修の具体(研修 の目的、目標、内容、過程・方法など)を考え る。								

※ 現時点での予定となっておりますので、一部時間等を変更する可能性があります。